

「PC・ネットワーク利用ガイド」における情報デザインとその反響

早稲田大学メディアネットワークセンター

三橋大輔, 川嶋健太郎, 小野寺涼子

mhashi@aoni.waseda.jp, kawaken@aoni.waseda.jp, onodera@aoni.waseda.jp

1. はじめに

早稲田大学では、主に新生を対象に「PC・ネットワーク利用ガイド」という小冊子を用意し、基礎的な情報倫理、PCの利用法、および学内サービスの利用方法などの解説をおこなってきた。しかし、年々必須となる情報量は肥大化の一途を辿り、更なるページ数の増大が懸念された。一方、学生からの反響の多くは、「内容が多すぎる」、「重い」といった、重厚さとそれに伴う携行性の不便さに対する不満が多かった。これに応え、2003年度より内容を大幅に刷新した。編集方針は、ページ数を抑えながら、情報量を減らさず、また学生が利用しやすいデザインにすることとした。結果、読みやすさ、情報の利用可能性について一定の評価を得たが、全体的な評価としてはユーザビリティに更なる改良が必要であるということが確認された(佐々木・川嶋・小野寺, 2003)。

2004年度版からは、2003年度版ガイドの欠点を、特にデザインの面から補填し、ユーザビリティの更なる向上を目指した。

2. 編集方針

2-1. デザインの方針

前年度版を踏襲し、実際に学生が「PC・ネットワーク利用ガイド」を利用する場面を想定し、使いやすいデザインになるようつとめた。具体的には、一つのトピックについて、見開き2ページのみで完結させ、開いたままの状態での作業が可能になるようにするなど、ユーザビリティの面で効果的なデザインを行なった(具体的なデザインの詳細については後述する)。

また、昨年度まで大きさが様々で配置もページ毎に異なっていた図表について、大きさを統一し、厳密に配置の方針を決定した。これはページ内のどこに図表が配置されているか一目で把握できるようにするためである。

2-2. 内容の方針

「PC・ネットワーク利用ガイドに」収録する内容は主に3部構成とした。それぞれ「早稲田大学内でのPCの利用法」、「Waseda-net ポータルに関する操作」、「情報倫理」からなる。従来、具体的なPCの利用法が第1部に記述されていたが、各アプリケーションの操作法については割愛し、Windowsの操作法とブラウザの利用法にとどめた。第2部では、早稲田大学独自のネットワークサービスである「Waseda-net ポータル」のサービスを中心として解説を行い、他ページより比較的ページ数を多く割いた。この方針は、容易にマニュアルや解説本で参照可能な一般的なアプリケーションの操作法よりも、早稲田大学でのみ行われているサービスの解説を重視したためである。第3部は昨年度まで全編に分散されていた情報倫理に関わる内容を集約した。本年度からは時代の要請に応じて、ウイルスや無線LAN、常時接続の危険性などについても言及している。また、PCを利用する上で知識として知るべきであるが、学内ネットワークを利用する上で早急が必要とされないもの(たとえば、「メール配信の仕組み」に関する知識など)は、コラムとして関連する本文の余白に挿入した。

3. 情報デザイン

「PC・ネットワーク利用ガイド」の編集ツールとしてAdobe社のAdobe InDesign 2.0(R)を利用した。従来TeXが利用されてきたが、多人数での編集作業と迅速なレイアウト修正にはグラフィカルなインターフェースの効率性が求められたからだ。これにより画像を多く配置した自由度の高いレイアウトが可能となった。

特に初学者に対して情報が紙媒体によって提示される場合に、情報の一覧性が重要であると考えられること、またPCの座右で参照しながら作業を行うために、ガイドのレイアウトは見開きとした。ひとつの内容が見開き2ページ以内で提示されることを原則とし、内容とその分量の検討を行なった。ページの大きさはA4とした。学生からの反響では、大きすぎるという声が多かったが、

判読可能なスクリーンキャプチャと十分な説明には A4 見開きの紙面は必須であったためである。

見開きレイアウトは昨年度から採用された方法だが、図表の配置に明確な規定はなく煩雑な印象を抱かせ、またすぐに該当する図表を発見できないという不便性があった。その為、本年度から図をページ下部に、表をページ上部に配置し、通し番号を左から右へ、上から下への順番に明確に規定した(図1)。この順序は読むための目の動きを考慮している。また、本文を3段組、図表を2段組とし、図表の大きさは2段組の全幅、もしくは半幅のいずれかの大きさに固定した。また、必ずページ左端に空きをもうけるようにした。これらのデザイン方針は、図表の判別という利便性もさることながら、統一したフォーマットを全ページに配することによって、整然とした印象を持たせること、また、必ず空きをもうけることで、閉塞した印象を持たせないことが意図されている。

4. 反響と今後の方針について

執筆現在、「PC・ネットワーク利用ガイド」についてのアンケートを実施中である。本年度の反響をもとに微修正を行い、来年度以降もユーザビリティの高いデザ

インを検討する予定である。また、早稲田大学では国際教養学部の新設にともない、英語版の「PC・ネットワーク利用ガイド」を刊行予定である。現段階では英語独自のデザインの必然性が不明なため、英語版においても同様のデザインを採用し、アンケートでのフィードバックを期待したい。

5. 参考文献

佐々木康成, 川嶋健太郎, 小野寺涼子 2003 「PC・ネットワーク利用ガイドにおけるユーザビリティの向上について」平成15年度大学情報化全国大会

72 | 第6章 その他のサービス
第6章 その他のサービス | 73

Web ページの公開

Web ページを公開する

Web ページ公開準備

Web ページ作成に入る前に、自分の公開する Web ページの URL を確認し、個人情報を発信できるように、サークル活動の報告の場として「サークル等学生団体用 WWW サービス」を、ゼミや研究室などにおける研究活動の支援のため「ゼミ用 WWW サービス」を、学生個人の情報発信用に「Waseda net 実用用 WWW サービス」を適用しています。世界の人たちにさまざまな情報を発信できます。ここでは、「Waseda net 実用用 WWW サービス」を対象とし、作成した Web ページの公開方法を説明します。

コンテンツの作成

WWW サービスを利用して情報を発信する場合、その公開内容(コンテンツ)は自分で用意する必要があります。Web コンテンツは一般的に HTML という文法にしたがって作成されます。ここでは HTML ドキュメントの作成方法については触れませんが、Web サイトや書籍を参考に自分が公開したい HTML ドキュメントを作成してください。

FFFTP を利用した更新(アップロード)

各自で作成した Web コンテンツをインターネット上に公開するためには、ファイル転送サーバへファイルをアップロードする必要があります。以下では、サーバへファイルを転送するために利用する、FTP (File Transfer Protocol: ファイル転送プロトコル) クライアントの最低限の操作について、FFFTP を例に説明します。FFFTP および他の FTP クライアントソフトの詳しい操作方法や機能については、各 FTP クライアントのオンラインマニュアルなどを参考にしてください。なお、FFFTP ではサーバのことをホストと呼びます。

届先からの接続

1. 「スタート」→「プログラム (P)」→「telnet&ftp」→「FFFTP」を選択します。

2. 接続先設定を行います。まず、ホスト一覧の中から転送先ホストを選択し(図1)、「設定変更」をクリックします。転送先ホストは、「ftp. (自分の取得したサブドメイン名).waseda.jp」です(表1)。例え

表

表1: 転送するサーバ

Waseda-net メールアドレス	ファイル転送サーバ
userID@akane.waseda.jp	ftp.akane.waseda.jp
userID@esagi.waseda.jp	ftp.esagi.waseda.jp
userID@toli.waseda.jp	ftp.toli.waseda.jp
userID@moegi.waseda.jp	ftp.moegi.waseda.jp
userID@ruri.waseda.jp	ftp.ruri.waseda.jp
userID@suou.waseda.jp	ftp.suou.waseda.jp
userID@toki.waseda.jp	ftp.toki.waseda.jp

表2: 転送モード

モード	ファイル形式
テキスト (ASCII)	テキストファイルなど
バイナリ	画像ファイル
アプリケーション	アプリケーションで作成したファイル (Word, Excel...)
圧縮	圧縮ファイル など

信する場合は、自分の Waseda-net メールアドレスが「ohkuma@akane.waseda.jp」の場合、接続先のファイル転送サーバは「ftp.akane.waseda.jp」になります。

3. ホスト設定を入力します(図2)。「ホストの設定名 (T)」と「ホスト名 (アドレス) (N)」はすでに入力された状態ですので、「ユーザ名 (U)」と「パスワード (P)」を新たに入力します。Waseda-net メールアドレスが「ohkuma@akane.waseda.jp」の場合、FTP 接続用ユーザ ID は「ohkuma」、パスワードは「Waseda-net ボーダーのパスワード」を入力します。なお、ユーザ名の右側にある「anonymous」にチェックをいれている場合には「OK」をクリックするとホスト一覧の画面に戻ります。

接続後の操作

1. 接続すると、左側にローカル(自分の接続している PC)のディレクトリ、右側に WWW サーバ上のディレクトリが表示されます(図3)。

2. 作成した HTML ドキュメントを公開するためには「public_html (図5丸印) ディレクトリの中におく必要があります。「public_html」をダブルクリックして開きます。

3. ファイルの転送モードを指定します。図6の丸印がファイルの転送モード指定ボタンです。赤文字の「A」が ASCII モード、緑文字の「B」がバイナリモードです。

4. 転送したいローカル側のファイルを選択し、ドラッグアンドドロップ、または右クリックメニューからアップロードを選択すると、ファイルの転送

図1: ホスト一覧 (端未定)

図2: 接続先ホストの設定

図3: ホスト一覧 (設定前)

図4: WWW サーバへ接続

図1: 「PC・ネットワーク利用ガイド2004年度版」のレイアウト